

秋田県議会議員 宇佐見 康人

やすひと

「若者との意見交換会」を開催

秋田県議会では議長の発案のもと「若者との意見交換会」(座長・住谷達議員)を開催し、県民にとって身近に感じてもらえる議会になるように、様々な改善策を検討、実施しています。参加者からの意見で多かったSNSでの情報発信も議会としてスタートし、Twitter、Instagram、facebook、YouTubeなどで議会情報を届けています。今までは紙媒体やテレビでの情報発信が主でしたが、時代の変化と共に私たちも変化を恐れずに様々なことに挑戦していかなければいけないと思っています。



議会活動に関する若者との意見交換会。最後にA(秋田)マークで記念撮影。

同意見交換会には私もメンバーとして参加しましたが、若い世代が議会をより身近に感じてもらえるように、そして県民の皆様からの声をしっかりと県政に反映できるように継続的な取り組みとなることを望みます。関連してではありますが、9月議会での一般質問で「こども議会の開催」を知事に対して求めました。今後、子どもたちの意見を直接知事に伝えられる機会を作ってくれるとのことでしたので、そちらも楽しみにしています。

ご意見を聞かせてください!!

これまでの議会では、人口減少対策、子ども子育て施策、環境問題対策を中心に「こどもにやさしいまち」を目指して活動をしてきました。改善できた部分もあれば、まだまだ積極的に取り組まなければいけない問題もあります。

そこで、ぜひ皆様からの忌憚ないご意見を頂戴したいと考えています。メール、FAX、各種SNSメッセージなどでご意見を頂戴できれば幸いです。子どもが夢を持ち、若い人が挑戦でき、先輩たちが安心できる秋田県にしていくためにも、皆様のお知恵をお貸しください。よろしくお願いします。

重度障害児の
支援について

不登校児童の居場所づくり、
いじめ防止について

ヤングケアラーの解決に
向けた取り組みについて

児童虐待の防止と子どもの
貧困解決に向けた取り組みについて

子ども子育て施策に関する
所得制限の緩和について

女性の活躍、男性の
育児休暇取得向上策について

カーボンニュートラルの実現に
向けた取り組みと課題について

新県立体育館、
新スタジアムの整備について

秋田港の整備、
発展について

秋田県内の文化財の
保護について

テーマに偏りがありますが、上記のテーマ以外でもあなたが気になる改善点や疑問点などありましたらお気軽にご相談ください。



自由民主党秋田県秋田市第十三支部

〒011-0942 秋田市土崎港東二丁目3-29

電話 018-846-3737 FAX 018-803-4976

Web <http://yasuhi10.com> Mail info@yasuhi10.com

リンク 県民と自由民主党
会派をつなぐ

発行/令和4年10月20日

ご質問、ご意見をお聞かせください。

編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号(県議会内)

県民と自由民主党会派をつなぐ



2022.10 No.41

ごあいさつ

秋田県議会自由民主党会派 会長 加藤 鉦一

日頃より、秋田県議会自民党会派を力強く支えて頂いている、県民の皆様には厚くお礼申し上げます。

この度の参議院議員選挙において、県民の皆様から多くの支持をいただき心より感謝申し上げます。

コロナウイルスへの対応、経済政策をはじめ、安全保障環境、農業振興や人口減少など国や秋田県が抱える課題が山積しております。私たち県議会自民党会派は今回の勝利に驕ることなく、県選出自民党国会議員とともに決断と実行の政治を前に進め県民の暮らしを守り、未来を切り拓いてまいりますので、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

7月8日、わが国の総理として強いリーダーシップを発揮し、内政、外交に大きな成果を残された安倍晋三元総理が遊説先において銃撃を受け、ご逝去されました。今回の卑劣なテロ行為は、民主主義に対する挑戦です。私たちは、暴力には決して屈しないという断固たる決意を持ってまいります。様々なご功績に敬意を表し、哀悼の誠を捧げます。

9月23日にグランドオープンをした 「あきた芸術劇場ミルハス」



秋田県議会議員として活動をさせていただいてから、早いもので3年が過ぎ残りの任期も残り半年となりました。今任期では7回一般質問に登壇をさせていただき、また、総括審査(知事・当局との一問一答方式)にも14回のぞませていただきました。

イージス・アショアの配備問題からスタートし、SDGsの普及、新型コロナウイルスへの対応、新スタジアム・新県立体育館の新設など多岐に渡る課題を取り上げてきました。中でも秋田県の最大の課題である人口減少、少子化問題には毎議会問題提起と提案を繰り返し、その克服に向けて取り組んできました。

自民党会派では、昨年度末から竹下博英先生を中心とした「秋田県内の児童福祉に関する諸課題についての勉強会」を立ち上げ、児童福祉の向上を目指し、県内の児童養護施設や重度障害児者施設の方たちとの意見交換を重ねてきました。児童虐待やヤングケアラーの改善、子育て環境の整備、子どもの諸権利の確立など県内の児童福祉を取り巻く環境はまだまだ改善しなければいけないことが多くあります。特にヤングケアラー問題に関しては今まで実態の把握が難しく、対策が後手に回ってきていましたが、昨年度県内の実態調査を行い、現在対策をまとめているところで。

たまに「宇佐見は子どもと若者のことしかやっていない」と言われることがあります。確かに議会活動ではその課題が中心となり今後の情報発信のあり方も考えていかなければいけないと痛感していますが、子どもの笑い声が増え、若い人たちが希望を持ち生き活きと働くことで、その恩恵は先輩たちにも周り「安心して住み続けられる秋田」となると信じています。

秋田県内の児童福祉の改善、子育て環境の整備を引き続き訴え、次の世代が成長の時代を生き、現役世代が希望を持ち暮らせるよう尽力していきますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い致します。



共に、進む。

子どもたちに、夢ある
秋田を引き継ぐために

うさみやすひと
OFFICIAL SITE



秋田県議会議員
宇佐見 康人